

パラアスリート競技力向上事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	①しあわせ福井スポーツ協会、②トップパラアスリート				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	H26 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R11 年度
事業実施方法	①委託、②補助							■ 補助金		経過年数		
補助率	②10/10(上限あり)							□ その他		12 年		
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画、福井県障がい者福祉計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
「福井しあわせ元気大会」をピークに県強化指定選手は減少しており、若年層を中心に新たな選手獲得や育成・強化が急務となっている。						県強化指定選手数 R1 : 274人 R2 : 268人 R3 : 275人 R4 : 273人 R5 : 285人 R6 : 273人						
[事業目的] 「福井しあわせ元気大会」で培われた選手育成・強化体制の取組定着や、障がい者スポーツ振興による競技人口の拡大、新たな県強化指定選手の育成により、県内障がい者スポーツの競技力向上を図る。また、パラリンピック等の主要国際大会への出場を目指す本県在住の障がい者トップアスリートを多方面から支援を行う。これらの選手の活躍は同様の障がいを持つ方々にとっての大きな希望であり、このことにより障がい者スポーツの気運を高め、認知度向上を図る。												
[事業内容] (1) パラスポーツ強化対策事業 ①強化指定選手の認定 福井県障がい者スポーツ大会の成績等により、有望選手やチームを強化指定 ②強化対策 強化指定選手を対象に強化練習会、県外指導者による特別練習会、健常者チームとの練習試合・合同練習会、県外遠征等 (2) パラアスリート記録会開催事業 強化練習会などの成果を発揮する場として記録会を開催し、さらなる競技への意欲や競技力の向上を図る (3) パラアスリートタレント発掘事業 県内特別支援学校および盲学校、ろう学校、小中学校特別支援学級の児童・生徒を対象に、 パラスポーツ合同競技体験会や全国障害者スポーツ大会競技種目体験会を実施することにより、若手選手を発掘する (4) トップパラアスリート応援事業 ①全日本強化指定選手への支援(支援枠) ②福井県強化指定選手への支援(育成枠) (5) パラスポーツ大会開催費補助金 全国大会、ブロック大会を開催することにより、本県の障がい者スポーツの競技力向上と普及を図る。 (6) 国際大会等出場選手への激励金交付事業 (公財)日本スポーツ協会および(公財)日本スポーツ協会に加盟(準加盟を含む)する中央競技団体が母体となって派遣する日本代表として 国際試合等に参加する県内在住の選手、役員等に対して激励金を交付する。 (7) 国際大会成績優秀選手への報奨金授与事業 パラスポーツ国際試合等において優秀な成績を収めた県内在住の選手・役員等に対して報奨金を授与												
[受益者] 障がい者(健康上の理由でスポーツに関わることが困難な者を除く)						[想定される受益者数] 身体障がい者 34,270人、知的障がい者 7,357人、精神障がい者 8,655人 合計 50,282人(R6.3現在)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 パラスポーツ振興事業 (役割分担) パラアスリート競技力向上事業において選手強化を行い、パラスポーツ振興事業において全国障害者スポーツ大会等に選手を派遣					
市町との連携状況					他県の状況		33都道府県でトップアスリートを支援する制度あり(29年度 埼玉県全国調査)					

パラアスリート競技力向上事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	①しあわせ福井スポーツ協会、②トップパラアスリート				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	①委託、②補助											
補助率	②10/10 (上限あり)											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源 国庫、その他財源の名称等							
予算額	19,659	5,859			13,800	地域生活支援事業費等補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	20,867	20,105	21,792	18,761	19,659	<ul style="list-style-type: none"> ・ パラスポーツ強化対策事業 物価上昇による団体競技への支援額の増 ・ 事業拡充による増 パラアスリートタレント発掘事業 国際大会成績優秀選手への報奨金授与事業 						
2月現計予算額の推移	15,283	17,478	20,116	18,761								
決算額の推移	13,095	14,678	19,718									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 28年度より障がい者トップアスリート応援事業開始 ・ 支援対象者の増減 (支援枠の減、育成枠の増) 											
[成果指標等の推移]												
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	国際大会出場数 (目標)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(15)	(20)	当事業を活用して出場した国際大会数			
	実績		1	3	4							
活動指標	トップアスリート応援 事業支援対象者 (目標)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(15)	(20)	当事業の支援対象者数			
	実績	14	13	12	14							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業による要因 国際大会 (世界選手権) で好成績を収め、2名がパラリンピック競技大会に出場した。国際大会出場者数が延べ4名となった。 ・ 外的要因 本県の障がい者アスリート人口の減少 (H30:321名⇒R6:273名) 				<ul style="list-style-type: none"> ・ パラアスリートタレント発掘事業 県内の特別支援学校および盲学校、ろう学校、小中学校特別支援学級の児童・生徒を対象に、パラスポーツ合同競技体験会を開催し、全国障害者スポーツ大会競技種目の紹介やスポーツ体験会を実施することにより、将来のパラスポーツを担う若手選手を発掘する。 				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

パラスポーツ裾野拡大事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	しあわせ福井スポーツ協会				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R1 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R11 年度
事業実施方法	委託							□ 補助金		経過年数		
補助率	-							□ その他		7 年		
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]			関連する県の計画等			[福井県スポーツ推進計画、福井県障がい者福祉計画]				
	政策	[12 文化芸術・スポーツ力の強化]										
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
障がい者のスポーツ実施率向上を図るため、スポーツをより身近に感じ、気軽に体験・継続できる環境の整備が必要。						障がい者スポーツ体験教室参加延人数 R1 : 2,953人 R2 : 3,281人 R3 : 3,647人 R4 : 3,173人 R5 : 3,614人						
[事業目的]												
障がいの有無や性別、年齢に関わらず共にスポーツを楽しむことを通して、互いの理解を深め、障がい者の社会参加の促進や共生社会の実現を目指す。そのため、身近な環境で誰もがスポーツを楽しめる環境を整備し、スポーツ振興を通じた地域づくりを進める。												
[事業内容]												
I. スポーツ「融合の輪」拡大事業												
①「福井しあわせパラスポーツデー」開催 … 福井しあわせ元気国体・大会のレガシーとして、障がいの有無、世代を超えた交流・融合を推進し、誰もが楽しむことに重点を置いたイベントの開催(嶺南会場を追加)												
②パラスポーツ出前講座の開催 … 障がい者スポーツの理解・啓発を進めるため、県内の障がい者トップアスリート等が小学校や中学校等に出向き、障がい者スポーツの出前講座を開催												
③パラスポーツ指導員の養成 … 地域において障がい者スポーツを理解し指導ができる人材を育成するため講習会等を開催												
④パラスポーツ指導員スキルアップ事業 … パラスポーツ指導員の資質向上を図り、専門性を磨き上げて、パラスポーツの更なる普及・促進に活かすための講習会を開催												
⑤パラスポーツ情報発信 … 障がい者スポーツに関する行事案内や活動情報を発信												
⑥障がいの有無を越えたインクルーシブ大会開催事業 … 障がいの有無に関わらず参加可能なインクルーシブ大会を開催・支援し、スポーツを通じた共生社会の実現を目指す												
II. パラスポーツ「はじめの一步」支援事業												
①パラスポーツ体験教室開催 … 障がい者福祉団体等が行う体験教室を支援												
[受益者] 障がい者(健康上の理由でスポーツに関わることが困難な者を除く)						[想定される受益者数] 身体障がい者 34,270人、知的障がい者 7,357人、精神障がい者 8,655人 合計 50,282人(R6.3現在)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 パラアスリート競技力向上事業(役割分担) 障がい者がスポーツに触れる機会を確保しスポーツ実施率の向上を図る中で、競技スポーツを目指す選手が輩出される。こうした選手をパラアスリート競技力向上事業において育成・強化を図る。						
市町との連携状況					他県の状況	・石川県 障がい者の1日スポーツ体験教室の開催 ・富山県 パラスポーツ体験会の開催						

パラスポーツ裾野拡大事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香		
事業主体	しあわせ福井スポーツ協会					事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R1 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	委託								□ 補助金				
補助率	—								□ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	8,524	4,788			3,736	地域生活支援事業費等補助金（厚労省） 地方スポーツ振興費補助金（スポーツ庁）							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移	6,541	6,290	5,307	5,424	8,524	事業の拡充 ・「福井しあわせパラスポーツデー」開催事業 嶺南での開催により運営費増 ・パラスポーツ指導員スキルアップ事業 パラスポーツ指導員の資質向上を図り、専門性を磨き上げて、 パラスポーツの更なる普及・促進に活かすための講習会を開催 ・障がいの有無を越えたインクルーシブ大会開催事業 障がいの有無に関わらず参加可能なインクルーシブ大会を開催・支援し、 スポーツを通じた共生社会の実現を目指す							
2月現計予算額の推移	5,122	6,290	5,307	5,424									
決算額の推移	4,795	5,628	5,209										
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	障がい者スポーツ出前講座 参加者数	(2,800) 実績 2,455	(2,800) 3,525	(2,800) 2,467	(2,800)	(2,800)	(2,800)	障がいのある人となない人がともにスポーツに親しむ機会の創出に向けた主要政策 K P I					
活動指標	県内各地域での障がい者ス ポーツ事業	(6) 実績 6	(6) 6	(6) 8	(6)	(6)	(6)	毎年県内6地域（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭）すべてにおいて障がい者スポーツ事業を実施					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
・事業による要因 児童・生徒数の少ない小規模な学校、クラスからの依頼の際に、他の学校や学年等と連携して、参加者数を増やすことを条件にするなどの工夫が足りなかった。 ・外的要因 障がい者スポーツ出前講座の対象である小中学校における児童・生徒数の減				・パラスポーツ指導員の資質向上を図り、パラスポーツの更なる普及・促進に活かすための講習会を開催 ・障がいの有無に関わらず参加可能なインクルーシブ大会を開催・支援し、スポーツを通じた共生社会の実現を目指す				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								□ 継続	□ 休止	□ 完了			
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

障がい者eスポーツ普及促進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香
事業主体	しあわせ福井スポーツ協会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等		[福井県障がい者福祉計画]					
[解決すべき問題・課題] 障がいの種類・程度によっては運動・スポーツを通じた社会参加が難しい者もいる。また、健常者との交流において障がいの有無がネックとなる場合もある。						[問題・課題を表す客観的データ] 障がい者を対象としたeスポーツ体験会・イベント・大会 県内開催実績なし						
[事業目的] 年齢や性別、障がいの垣根が低く、誰もが楽しむことができるeスポーツに焦点をあて、障がい者がeスポーツを通じて活躍する場の提供や健常者との交流を深める機会を創出し、共生社会の実現を目指す。												
[事業内容] ①障がい者施設におけるeスポーツ環境の整備を支援 (対象) 障がい者関係施設 5施設(県内5地区×1モデル施設) (内容) ・eスポーツ設備の導入に必要な初期経費を支援 ・補助対象施設においてeスポーツによる障がい者への効果やメリットなどを検証												
[受益者] 県内障がい者						[想定される受益者数] 身体障がい者 34,270人、知的障がい者 7,357人、精神障がい者 8,655人 合計 50,282人 (R6.3現在)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 eスポーツをフックとした交流促進事業 (役割分担) 当該事業は、障がい者がeスポーツを通じて活躍する場の提供や健常者との交流を深める機会を創出し、共生社会の実現を目指すことを主な目的としておりは、eスポーツをフックとした交流促進事業はスポーツを通じた交流人口の拡大を図るものである。					
市町との連携状況	各市町の障がい者スポーツ、eスポーツ事業の担当者に、県主催のイベントに参加してもらい、eスポーツの魅力や可能性について周知				他県の状況		・愛媛県：障がい者を対象に機器貸出し、eスポーツイベント等を開催					

障がい者eスポーツ普及促進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香		
事業主体	しあわせ福井スポーツ協会					事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R4 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	委託								□ 補助金		経過年数		
補助率	—								□ その他		3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額													
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		1,696	1,641	750									
2月現計予算額の推移		1,696	1,641	750									
決算額の推移		1,609	1,473										
前年度までの主な増減理由	体験会を削減したことによる減												
[成果指標等の推移]													
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	県主催以外の障がい者が参加可能なeスポーツイベント数	(目標)	(1)	(1)	(1)	(2)	(4)	モデル施設等が自主・自立的にeスポーツに関する体験会や大会を開催し、障がい者同士・障がい者と健常者など様々な交流の機会を創出することで共生社会のきっかけとする					
		実績	2	1	1								
活動指標	新規モデル施設数	(目標)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	県内全域でeスポーツを通じた交流が促進されるよう県内各地域（福井、坂井、奥越、丹南、嶺南）にモデル施設を設置					
		実績	5	8	6								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
・障がい者施設（6施設）にeスポーツ環境の整備を支援し、特に精神障がいのある20歳代～40歳の方に「苦手なことに挑戦したい」、「自分に自信が持てる」、「感情のコントロールができる」などの効果が確認できた。 【参考】 ・障がい者eスポーツ普及促進事業成果報告会を開催（8団体が報告）				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額 750		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

県民スポーツ祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香
事業主体	県民スポーツ祭実行委員会				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H17 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	補助									経過年数		
補助率	定額									21 年		
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを上げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] シニア世代(60歳以上)の参加増						[問題・課題を表す客観的データ] シニア世代(60歳以上)参加割合 約34%(R5現在) ・市町対抗の部 約12% 467人 ・交流の部 約56% 3,792人 合計4,259人						
[事業目的] 県民が気軽に参加でき、年間を通じて幅広いスポーツ分野で活動成果を試す場を提供することにより、スポーツを「見る、する、支える」人口の増加につなげ、生涯にわたって元気でいきいきとしたスポーツライフの実現を目指す。												
[事業内容] ○県民スポーツ祭の開催 県民が気軽に参加できるスポーツ活動の場、年間を通じてできるスポーツ体験の場を提供 ・総合開会式 ・市町対抗の部 : 市町代表選手による競技 ・交流大会の部 : 一般参加者による競技 ・高校生の部 : 高校生による競技 ・中学校の部 : 中学生による競技 ・小学生の部 : 小学生による競技 ・障がい者の部 : 障がい者による競技 ・みんなでスポーツフェスタ : 親子で参加できる競技や障がい者スポーツ競技の体験会												
[受益者] 市町地域住民、県民スポーツ祭参加者						[想定される受益者数] 約40,000人						
前事業の有無・実績		□ 無 ■ 有 事業名 県民体育大会、県スポーツ・レクリエーション大会 (実績) H16年まで、「県民体育大会」と「県スポーツ・レクリエーション大会」を開催。H17年度に2大会を統合し、「県民スポーツ祭」として県内最大のスポーツイベントとして開催				関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		・市町対抗の部では、市町スポーツ協会で参加選手をとりまとめて申込				他県の状況		石川県：石川県民体育大会 富山県：富山県民体育大会				

県民スポーツ祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香		
事業主体	県民スポーツ祭実行委員会					事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H17 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	補助												
補助率	定額												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	13,500				13,500								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移	13,500	13,500	13,500	13,500	13,500								
2月現計予算額の推移	13,500	13,500	13,500	13,500									
決算額の推移	11,558	13,500	13,500										
前年度までの 主な増減理由	新型コロナウイルス感染症の蔓延により、総合開会式の規模縮小や各競技団体の判断で競技会を中止したものがあったため												
[成果指標等の推移]													
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	参加者数 (目標)	(46,000)	(46,000)	(46,000)	(46,000)	(46,000)	(46,000)	(46,000)					
	実績	23,700	29,764	35,067									
活動指標	シニア世代参加者数 (目標)	(2,600)	(2,600)	(2,600)	(2,600)	(2,600)	(2,600)	(2,600)					
	実績	2,487	3,106	4,259									
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業による要因 募集期間等の周知・徹底が不十分であるとの指摘があった ・ 外的要因 夏期を中心会期としているため、酷暑による参加者数減 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流大会の部での参加資格の拡大を図るとともに募集期間を延長するなど大会の周知・徹底を図る。 (実施種目数：R2 85種目、R3 126種目、R4 156種目、R5 171種目、R6 171種目) 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

1 県民 1 スポーツ普及事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県、競技団体等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	H25 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R11 年度
事業実施方法	実行予算、補助							■ 補助金		経過年数		
補助率	定額							□ その他		13 年		
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを上げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> あらゆる世代がスポーツをより身近に感じ、気軽に体験・継続できる環境の整備を行い、県民のスポーツ実施率を向上させる必要がある 地域スポーツ活動のニーズに応じてスポーツ活動の一層の充実を図るため、指導者を派遣する仕組みを構築する。 						福井県県民意識調査による成人スポーツ実施率 H30:42.8% R3:48.5% R5:48.7%						
[事業目的]												
スポーツを通じた健康づくり、生きがいくりにつなげるため、子どもから高齢者まで、それぞれの体力や生活時間にあった運動習慣の定着を促進する。												
[事業内容]												
○1 県民 1 スポーツ普及の推進 <ul style="list-style-type: none"> ゆるスポ・ニュースポの推進 ニュースポーツやレクリエーションスポーツの大会、体験会、出前教室等の開催を促進するため、開催経費を助成 (実施主体) 県レクリエーション協会加盟団体、県スポーツ協会準加盟・準々加盟団体等 地域クラブ指導者養成 ニュースポーツの地域クラブ指導者やこれから競技を始めたい初心者を対象とした研修会を開催し、指導者の資質向上と競技の普及・発展を図る メディカルコンディショニング講習会開催 専門知識を身につけ、指導者バンクに登録される指導者の資質向上を図る スポーツ指導者派遣事業(指導者バンク活用推進) 地域のスポーツ推進委員や職域の健康担当部署が、スポーツ習慣の定着化を図るために実施する講習会にスポーツ指導者を派遣する仕組みを構築(3年計画)。 スポーツ環境の一層の充実を図るため、競技団体などのニーズに応じた指導者も派遣し、地域スポーツ活動の現場が活性するよう県内全域に広く派遣 												
[受益者] 市町地域住民、スポーツクラブ関係者、総合型地域スポーツクラブ会員等						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 総合型地域スポーツクラブ支援事業 (役割分担) 生涯スポーツ振興における「活動の場の充実」を図る上でクラブ・団体の育成が重要であり、総合型地域スポーツクラブに対する多様な支援については総合型地域スポーツクラブ支援事業で実施					
市町との連携状況	市町の競技団体等との連携				他県の状況		石川県：いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会					

1 県民 1 スポーツ普及事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県、競技団体等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	H25 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R11 年度
事業実施方法	実行予算、補助							■ 補助金		経過年数		
補助率	定額							□ その他		13 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	6,464	3,232			3,232	新しい地方経済・生活環境創生交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	1,367	1,543	7,858	5,415	6,464	働き盛り世代・子育て世代・高齢者・障がい者のスポーツ参加の促進に関するメニューを削減し、新規事業として働き盛り・子育て世代への取組みを重点化						
2月現計予算額の推移	1,367	1,543	7,858	5,415								
決算額の推移	1,218	1,185	7,792									
前年度までの主な増減理由	令和4年度にゆるスポ・ニュースポ推進を統合 令和5年度6月補正にて、広域スポーツセンターホームページリニューアル事業を新規拡充											
[成果指標等の推移]												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	スポーツ実施率 (%) (目標) (50) 実績 48.5		(50) 48.7		(50)	(55)	(60)	福井県スポーツ推進計画 R7目標 スポーツ実施率50%				
活動指標	ゆるスポニュースポ補助対象イベント (目標) (7) 実績 8		(7) 7		(7)	(7)	(7)	ゆるスポ・ニュースポーツの普及拡大を目的とした大会・体験会等の開催数				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> 事業による要因 講習会や体験会、研修会の開催周知や参加者募集案内が十分に行き届かない面があった。 外的要因 子育て世代・働き盛り世代のスポーツ実施率が低い。 				スポーツ環境の一層の充実を図るため、競技団体などのニーズに応じた指導者も派遣し、地域スポーツ活動現場の活性化を図る。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

ふくいスポーツ習慣化推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度			
事業実施方法	直営、補助														
補助率	定額														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3 楽しみを上げる(創造力)]	政策	[12 文化芸術・スポーツ力の強化]	関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]								
[解決すべき問題・課題] 働き盛り世代・子育て世代のスポーツ実施率が低い状況にある						[問題・課題を表す客観的データ] 子育て世代女性のスポーツ実施率 20～29歳：28.6% 30～39歳：13.7% (20歳以上男女：48.7%)									
[事業目的] 働き盛り子育て世代・女性のスポーツ実施率を高める取組を重点的に実施し、県民全体のスポーツ活動を伸ばしていく															
[事業内容] ○働き盛り子育て世代・女性のスポーツEnjoy応援 ①親子参加型 … 地域の子ども会やPTAなどを対象に親子で一緒に楽しく体を動かすイベント等へ支援する。 ②子育てママ・パパ支援型 … 子育てに追われ忙しい生活の中でも簡単に体を動かして運動不足解消と健康づくりにつなげる。 はぴコインを活用し講習会やイベントの開催により運動習慣化を図る。 ③働く女性支援型 … ふくい女性活躍推進企業と連携し、働く女性をターゲットとした、専門家による簡単ストレッチ体験会を開催する。 ○スポーツエールカンパニーの応援 国が認定している「スポーツエールカンパニー」認定企業を増やすため、合同企業説明会の参加にかかる配点にスポーツエールカンパニー認定企業の加点を設けるなどの取組を実施。(ゼロ予算)															
[受益者] 県内働き盛り子育て世代・女性						[想定される受益者数] 33万人(20代～50代働き盛り世代人口)									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 (実績)		事業名		関連事業の有無・ 役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 1県民1スポーツ普及事業 (役割分担) 県民全体のスポーツ実施率向上に向けた取組みは1県民1スポーツ普及事業で実施。特に、働き盛り・子育て世代に重点化した事業が本事業。								
市町との連携状況	市町スポーツ推進員との連携など				他県の状況		宮城県：企業等と連携した就業者に対する運動習慣化促進 鳥取県：公共スポーツ施設等での託児室設置等、女性が気軽にスポーツ参加できる取組を推進 愛知県：運動不足を感じている働き盛り世代向けに親子で参加可能なスポーツイベントを開催 福岡県：各市町スポーツ推進員や各地域のスポーツ指導者を対象に女性特有の課題に応じた講習会を開催								

ふくいスポーツ習慣化推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R11 年度	
事業実施方法	直営、補助												
補助率	定額												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	10,429		9,277			1,152		地方スポーツ振興費補助金 新しい地方経済・生活環境創生交付金					
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移							10,429						
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	スポーツ実施率 (%)	(目標) 実績					(50)	(55)	(60)	スポーツ実施率が顕著に低い働き盛り・子育て世代の実施率が向上することにより県民全体の実施率向上が見込めるため			
活動指標	スポーツエールカンパ ニー認定事業所数	(目標) 実績					(10)	(30)	(50)	働き盛り世代が1日の大半を過ごす職場において運動による健康づくりの取組を進めている認定企業数の増加は、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動状況を客観的に示す指標となる			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価			
—					—					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

幼児の運動遊びボトムアップ応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R7 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	直営			経過年数								
補助率	—			1 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] 幼少期からの運動習慣の定着化、スポーツ実施率の向上						[問題・課題を表す客観的データ] 児童・生徒の1週間の総運動時間が減少。 特に中学生女子では0時間が約25% (令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査)						
[事業目的] 幼少期における運動習慣の定着化やスポーツ参加の促進、スポーツ実施率の向上												
[事業内容] ①保育士等を対象にした幼児向け運動遊びの専門家による指導 ②指導者を保育園等に派遣し各園の環境に即した幼児の運動遊びをサポート ③県教育委員会や福祉部局と連携し、事業内容を広く周知 ④事業者を公募で募集し県から委託												
[受益者] 県内在住幼児および幼児教育従事者等						[想定される受益者数] 認定こども園158、保育所125、幼稚園31、地域型保育事業11						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町幼児教育所管課と連携した広報等					他県の状況	宮城県：幼児期からの運動遊び普及促進 鳥取県：幼稚園や保育園で親子で一緒に体を動かす機会創出 愛知県：幼稚園教諭や保育士等に対する研修会の開催 滋賀県：幼児の運動遊びプログラムの周知と取組推進 長野県：休日の親子運動教室等の開催 等					

幼児の運動遊びボトムアップ応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R11 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	968					968						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移							968					
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	児童・生徒の1週間の総運動時間 中学生女子0時間の割合 (%)	(目標) 実績					(20)	(18)	(15)	幼児期からの運動習慣定着化を図ることにより小学校児童や中学校生徒の1週間の総運動時間0時間の割合は減少。将来的な県民全体のスポーツ実施率向上に寄与。		
活動指標	指導者派遣回数	(目標) 実績					(40)	(40)	(40)	保育士等のスキルアップを目的とした専門家の派遣回数		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

スポーツに関する県民意識調査

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを上げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] 福井県スポーツ推進計画の進捗状況の把握および運動・スポーツに関する現状や県民のニーズを把握する調査として必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県県民意識調査による成人スポーツ実施率 H30:42.8% R3:48.5% R5:48.7%						
[事業目的] 本県における県民のスポーツに関する意識およびスポーツ振興に係る県民のニーズを把握するために継続的に広く調査し、福井県スポーツ推進計画の基礎資料等として活用する。 (推進計画の進捗管理) また、令和7年度からの第2期福井県スポーツ推進計画に設定した施策目標値については、スポーツに関する県民意識調査の結果を用いるが、その目標値の達成状況を把握する必要があるため。												
[事業内容] ○事業調査概要 ・運動・スポーツの実施状況について ・運動・スポーツに関する意識について ○事業調査の対象 ・事業調査対象：15歳以上の福井県民 ・事業対象者数：2,000人(目標協本数：1,200人) ・選定方法：住民基本台帳から市町の人口および年齢構成に基づき無作為に抽出 ○令和7年度より本調査は毎年実施。												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	富山県：R4、R6 調査実施 新潟県：R4、R6 調査実施					

スポーツに関する県民意識調査

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H22 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	年度	
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,850				1,850							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移			1,222		1,598		1,850	物価上昇のため単価の増加				
2月現計予算額の推移			1,222		1,598							
決算額の推移			1,216		1,598							
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	(目標) 実績									定量的に検証できるものがなく設定が困難		
活動指標	(目標) 実績									定量的に検証できるものがなく設定が困難		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価			
R5 調査数2,000 回収数1,122 回収率56.1%					令和7年4月に第2期福井県スポーツ推進計画を策定する。これまでのKPIの項目とともに、次期計画の理念に伴い「幸せ実感」に関する調査項目等も追加して、福井県のスポーツに関する県民の実態やニーズを継続的に調査し、推進計画の進捗管理の基礎資料として活用する。またそのデータを基に、事業の効果検証や対策強化を毎年度図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

総合型地域スポーツクラブ支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	公益財団法人福井県スポーツ協会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
補助率	定額							<input type="checkbox"/> その他				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] 地域住民が気軽に参加できるスポーツ活動の拠点として、総合型地域スポーツクラブの機能を強化し、スポーツ実施率の向上を図る。						[問題・課題を表す客観的データ] 総合型クラブ会員数 R2: 6,009人 R3: 6,246人 R4: 6,274人 R5: 6,777人 R6: 6,905人 成人スポーツ実施率 R2: 56.0% (59.9) R3: -% (56.4) R4: 54.8% (52.3) R5: 61.0% (52.0) R6: 61.2 (-)						
[事業目的] 県内で活動する総合型地域スポーツクラブの定着・発展を促進するため、その円滑な運営に資する情報交換や交流の活性化を図り、クラブの設立や運営の支援を行う「福井県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」が令和4年度から(公財)福井県スポーツ協会に創設されたことに伴い、総合型地域スポーツクラブを多方面から支援する。												
[事業内容] ①強化支援・・・先進クラブの代表者による事業展開や運営面での研修会、行政と連携した事業運営などを学ぶ研修会の開催 ②登録認証支援・・・総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の運用に伴う登録審査会の開催、公認アシスタントマネージャー養成講習会 ③機能強化支援・・・地域における認知度向上につながるスポーツ体験イベントを開催や地域移行に伴う中学校部活動等を担う総合型地域スポーツクラブに対する補助 (内容) 商業施設やスポーツ施設等での体験イベント等の開催経費補助 (対象者) 登録クラブ(登録・認証制度) 補助率: 定額 上限額: 100千円 選定数: 15クラブ (加算枠) 認証クラブ(登録・認証制度) 補助率: 定額 上限額: 50千円 選定数: 5クラブ ④クラブアドバイザー配置支援・・・総合型地域スポーツクラブへの巡回指導等を行うクラブアドバイザーを配置												
[受益者] 15市町地域住民、総合型地域スポーツクラブ会員等						[想定される受益者数] 約73万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 広域スポーツセンター事業 (役割分担) 生涯スポーツ振興のため、総合型地域スポーツクラブに関する諸事業は本事業で実施し、その他については、広域スポーツセンター事業が担当して互いに連携・協力					
市町との連携状況	各市町行政担当者とクラブ関係者を対象とした研修会を開催し、市町連携の事業展開について検討を行い、17市町との連携を推進					他県の状況	石川県、富山県、新潟県、岐阜県などに総合型地域スポーツクラブへの支援事業がある					

総合型地域スポーツクラブ支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香		
事業主体	公益財団法人福井県スポーツ協会					事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	補助												
補助率	定額												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,289					3,289							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			4,987	3,170	2,864	3,289	公認アシスタントマネージャー養成講習会への補助による増 認証クラブ（登録・認証制度）に対しての加算補助による増						
2月現計予算額の推移			3,277	2,120	2,864								
決算額の推移			2,094	1,709									
前年度までの 主な増減理由	総合型地域スポーツクラブ登録審査会（実地審査）の回数減、機能強化支援における補助対象者数の減												
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	総合型地域スポーツクラブ 会員数		(6,500) 実績 6,274	(6,500) 6,777	(6,500) 6,746	(6,500)	(7,000)	(7,500)	福井県スポーツ推進計画 R6目標 会員数7,500人				
活動指標	登録認証数		(10) 実績 25	(10) 25	(10) 24	(15)	(15)	(20)	総合型地域スポーツクラブ登録認証制度 令和4年度開始				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合型地域スポーツクラブ会員数 R2：6,009人 R3：6,246人 R4：6,274人 R5：6,777人 R6：6,905人 ・ 成人のスポーツ実施率 R2：56.0% R3：-% R4：54.8% R5：61.0% R6：61.2% 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 登録・認証制度を促進し、総合型地域スポーツクラブが地域におけるスポーツ活動の拠点としての機能強化や役割の拡大を図る。登録クラブに対して県内総合型地域スポーツクラブの認知度向上および新規会員獲得のため支援をし、認証クラブ（登録・認証制度）に対しては支援の加算枠を設ける。 				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								□ 継続	□ 休止	□ 完了			
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

スポーツ・文化交流イベント等開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度			
事業実施方法	委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを上げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]					関連する県の計画等	[福井県スポーツ推進計画]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
<ul style="list-style-type: none"> ・体験イベントの在り方や効果的な広報の方法を検討し、イベントの集客を拡大する。 ・キャラクターの露出方法(出勤、動画作成など)の検討と、更なるファン拡大を図るための新しい取り組みが必要。 						<ul style="list-style-type: none"> ・イベント来場者数 (R3 : 3,788人、R4 : 6,048人、R5 : 6,508人、R6 : 7,122人) ・はぴねすキャラバン出勤数 (R3 : 192回、R4 : 218回、R5 : 256回、R6 : 242回) 									
[事業目的]															
<p>県民のスポーツ・文化活動の活性化や、県民相互の交流を促すため、継続してスポーツ・文化の複合型イベント「スポーツ・文化交流イベント」を開催する。また、福井県のキャラクターとして活躍している「はぴりゅう」については、その認知度・知名度を活かし、県事業PRなどで効果的に活用していく。</p>															
[事業内容]															
<p>(1) 県民スポーツ・文化交流イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージプログラム・・・エンタメステージ、県内ゆかりの団体によるステージ発表等 ・体験、PR・・・スポーツ、アート、アミューズメント、eスポーツ、障がい者スポーツの体験教室等、県事業のPRブース等 <p>(2) 「はぴねすキャラバン」の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民交流サポーター「はぴりゅう」の継続的な活用による県民応援活動 															
[受益者] 市町地域住民、イベント参加者						[想定される受益者数] 約10,000人									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 スポーツ&アートフェスタ、広報キャラバン (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	市町観光関係機関との連携により、市町観光PR・特産品・ご当地グルメ等PRを行う。今後も、北陸新幹線開業に伴う観光PRや県内市町のおもてなし強化の観点から、継続して連携を図っていく。					他県の状況									

スポーツ・文化交流イベント等開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R11 年度	
事業実施方法	委託												
補助率	—												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	18,144					18,144							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			20,548	19,260	18,244	17,569	18,144	物価上昇に伴うキャラバンスタッフ派遣費・移動費等単価上昇による増 イベントスタッフ人件費・各種資材等単価上昇による増					
2月現計予算額の推移			20,548	19,260	18,244	17,569							
決算額の推移			20,448	19,156	17,395								
前年度までの 主な増減理由		はびねすキャラバン隊出動回数の見直しに伴う減											
[成果指標等の推移]													
区分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	来場者数	(目標)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	イベント（スポカルFUKUI）の来場者数			
		実績	3,788	6,048	6,508	7,122							
活動指標	広報活動数	(目標)	(240)	(240)	(240)	(240)	(240)	(240)	(240)	マスコット「はぴりゅう」等の運用(月20回程度運用を予定)			
		実績	192	218	256	242							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業による要因 紙ベースでのチラシ配付を制限する市町教育委員会が増加しデータ・SNSでの周知がメインとなり、広報の効果が不十分な結果となった。 また、ステージプログラムの構成順が集客に影響した。 ・ 外的要因 天候に恵まれず、また、近隣幼保園等のイベントと重なり集客に影響した。 					<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報の媒体や対象を見直し、ターゲットの層に確実に届くよう周知を強化する。 ・ 安定した集客が見込めるプログラムを有効かつ効果的に配置し、時間帯による集客の多寡を減少させる。 					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
										<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

久々子湖漕艇場コース整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	実行予算			経過年数								
補助率	—			3 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] ・現状のB級1,500m公認コースでは、2,000mで開催される全日本級・国際級大会や競技団体の合宿の誘致が不可。 ・風が吹くとスタート地点に波が立ち、ボート競技運営に支障が生じている。コーススタート地点に波を吸収する消波対策を講じる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 全日本大会等の誘致が可能なA級2,000m公認コースではないため、大会誘致が不十分な状況 A級2,000m公認コース：全国5ヶ所 (R7.1月時点)						
[事業目的] ・現在、B級1,500m公認コースとして認定を受けている久々子湖漕艇場を、全日本大会等の誘致が可能なA級2,000m公認コースとして再整備することにより、ボート競技の振興や競技力向上、交流・関係人口の増加を図る。 ・コーススタート地点に波消し対策を実施し、円滑な競技運営を図る。												
[事業内容] <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>①久々子湖漕艇場ボートコース2,000m延伸事業 《令和5～6年度》 ○測量調査設計 ・土質ボーリング調査や測量を行い、延伸工事の設計を実施 ※予算額：33,913千円</p> <p>《令和7年度》 ○コース延伸化工事 ・既存1,500mコースを沖側(西)へ平行移動 ・コースワイヤーの全面張り替え ・ゴール地点に見通し板やランドマークタワー、決勝審判席のステージを設置 ※予算額：137,423千円</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>②久々子湖漕艇場コーススタート地点消波対策事業 《令和6～7年度》 ○測量調査設計 ・波風の状況や土質状況等の調査、測量設計を行う。 ※予算額：4,365千円</p> <p>《令和7年度》 ○コーススタート地点消波対策工事 ・測量調査設計を実施し、効果を検証したうえで最適な工法で工事を実施。 例) 消波ブロックを設置等 ※予算額：21,509千円</p> </div> </div>												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	2,000mに延伸するうえで障害となる釣船センターの棧橋の撤去や大会を開催するうえで必要となる備品等については、美浜町が負担。					他県の状況						

久々子湖漕艇場コース整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業終了予定年度 (見直し年度)	
事業実施方法	実行予算					□ 法定受託事務			□ 補助金			R5 年度 経過年数 3 年
補助率	—					□ その他			□ その他			
区分	事業費	国庫	起債	繰入金	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	103,962		6,000	83,861	14,101	地域活性化基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移					10,174	86,967	103,962	工事請負費の計上による増				
2月現計予算額の推移					10,174	83,074						
決算額の推移					9,537							
前年度までの 主な増減理由	工事請負費の計上による増											
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	(目標) 実績									定量的に検証できるものがなく設定が困難		
活動指標	(目標) 実績									定量的に検証できるものがなく設定が困難		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価			
—					—				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額
									■ 継続	□ 休止	□ 完了	
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他	

「稼げるスポーツ施設」魅力アップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営			経過年数								
補助率	—			2 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画、行財財政改革アクションプラン]					
[解決すべき問題・課題] 福井運動公園内スポーツ施設において、広告掲出およびネーミングライツ導入による歳入確保を積極的に図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 県有施設を利用した広告掲出およびネーミングライツの導入は、県としては前例がない。						
[事業目的] 県営スポーツ施設の壁面に企業広告の看板を設置し、広告収入を得ることにより、スポーツ施設の運営や大会の誘致、開催支援などのスポーツ振興に寄与する事業の財源とする。また、ネーミングライツを導入することにより財源が確保され、県内スポーツ振興に寄与する事業や老朽化する施設の維持管理補修費に充当する。												
[事業内容] (1) 広告事業 県営体育館メインアリーナ内に企業広告を掲出し歳入を確保する。 (2) ネーミングライツ事業 県営体育館および県営野球場、県立艇庫(久々子湖漕艇場)においてネーミングライツにより歳入を確保する。												
[受益者] 広告掲出・ネーミングライツ導入企業等						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		都道府県営スポーツ施設における導入状況 ・広告掲出導入済 22 ・ネーミングライツ導入済 35				

「稼げるスポーツ施設」魅力アップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	47			使用料 諸収入 15,370	△ 15,323	広告収入、ネーミングライツ						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	令和 7 年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				912	47	<ul style="list-style-type: none"> ・ネーミングライツ選定委員会、広告掲出スペース整備費分の減額 ・県立艇庫（久々子湖漕艇場）においてネーミングライツを導入 						
2月現計予算額の推移				912								
決算額の推移												
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	ネーミングライツの歳入額 (目標) 実績			(3,025) 10,083	(13,750)	(11,300)		単位：千円 久々子湖は5月から契約開始を想定。(予算額×11ヶ月)				
活動指標	県営体育館メインアリーナ内の広告掲出数 (目標) 実績			(5) 7	(10)	(10)		県営体育館メインアリーナに最大10枠掲出枠。				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ネーミングライツについて、県営体育館、県営球場共に契約を締結(体育館：6,600千円(年額)、球場：4,400千円(年額)) ・県営体育館広告掲出事業について、2月上旬時点で契約件数7件 				<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度より県立艇庫（久々子湖漕艇場）においてネーミングライツを導入。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額	

福井運動公園長寿命化対策支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R7 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営			経過年数								
補助率	—			1 年								
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
県有スポーツ施設の安全確保のため、経年劣化していく設備を随時更新していく必要がある。						昭和43年 運動公園事務所設置 平成30年 福井国体開催 一部施設改修						
[事業目的]												
福井運動公園は地域に根付いたスポーツ中核施設であり、施設整備・維持を適切に行う必要がある。安全性確保およびライフサイクルコスト縮減の視点から、適正な施設点検や維持管理等の予防保全管理を明確化するため、施設の長寿命化計画の策定を行う。												
[事業内容]												
1 事業概要 福井運動公園・少年運動公園長寿命化計画策定業務												
2 事業内容 福井運動公園・少年運動公園長寿命化計画は、今後老朽化の進展が予想される福井運動公園内の施設について、計画的な維持管理の方針や長寿命化対策を定め、利用者の安全・安心な利用環境の確保を図りつつ、施設の維持管理や更新予算の縮減や平準化を図ることを目的に、国土交通省「公園施設長寿命化計画策定指(案)」に基づき策定する。												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況						

福井運動公園長寿命化対策支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香				
事業主体		県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R7 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法		直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			経過年数		
補助率		—					□ その他			□ その他			1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	31,428	14,965			16,463	社会資本整備総合交付金									
[予算額の推移等]												(単位：千円)			
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						31,428									
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績								定量的に検証できるものがなく設定が困難						
活動指標	(目標) 実績								定量的に検証できるものがなく設定が困難						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価					
—					—					□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
										□ 継続	□ 休止	□ 完了			
										□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

スポーツ大会開催費補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香
事業主体	競技団体等				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開 始 年 度	H5 年度 経過年数 33 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	年度
事業実施方法	補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
補助率	定額							<input type="checkbox"/> その他				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを上げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] スポーツを「みる」「する」「ささえる」機会の充実						[問題・課題を表す客観的データ] スポーツイベントの観客数減少 アスリートゲームズ 2024年観客数 200人(※台風の影響もあり1日のみ開催)、 2023年観客数 1,500人、2022年観客数 1,200人、 2021年観客数 1,600人 2020年観客数 2,700人						
[事業目的] 県内で開催される各種大会に補助し、県民がスポーツに興味・関心を持つ機会を充実し、地域のにぎわい、スポーツの振興を図る												
[事業内容] 各種競技団体が行う大会開催に対して補助を行う。 補助条件 (1) 対象となる大会 国際大会、全国大会、ブロック(中部、東海北陸、中日本、北信越)大会 (2) 大会の内容 ① 競技の普及振興、競技力向上を図ることを目的としたもの ② 本県発祥など、生涯スポーツの振興に貢献するもの ③ 県のイメージアップ、PRにつながるもの (3) 競技スポーツ、生涯スポーツを問わず、実施主体(補助事業者)が (公財)福井県スポーツ協会に加盟していること												
[受益者] 市町地域住民、県スポーツ協会に加盟する競技団体とその加入者						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

補助金額のルール

- (1) 全国大会 300千円
- (2) ブロック大会 100千円
- (3) 国際大会、その他お成りを伴う大会 県内開催前例、先催県等を参考に決定
- (4) 本県発祥のスポーツ大会 本県での普及度、知名度、貢献度を参考に決定
本県発祥の大会は100千円上乗せする
- (5) 大規模イベント・大会 3,000千円

スポーツ大会開催費補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香			
事業主体	競技団体等				事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	H5 年度 経過年数 33 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	年度		
事業実施方法	補助												□ 法定受託事務	□ その他
補助率	定額													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	3,200			繰入金 1,200	2,000	スポーツふくい基金繰入金								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			2,800	3,500	1,300	700	3,200	補助大会数・規模の変動による増						
2月現計予算額の推移			2,700	3,500	1,300	700								
決算額の推移			1,600	3,430	800									
前年度までの 主な増減理由		補助対象大会数や規模の変動に伴う減												
[成果指標等の推移]														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	(目標) 実績									定量的に検証できるものがなく設定が困難				
活動指標	(目標) 実績		(4) 3	(4) 4	(4) 4	(3) 3	(4)							
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
・県内で開催を予定していた全国大会やブロック大会等、3大会に支援を行い、滞りなく大会を開催することができた。				・令和7年度は4大会への補助を予定。補助件数と大会規模の変動により、予算額を拡充				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

スポーツまちづくり推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助			経過年数								
補助率	1/2			6 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを上げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] 福井国体やオリパラの開催により醸成された各市町のスポーツに対する機運の盛り上がりを活かし、新幹線開業に向けて、スポーツによるまちづくりを進めていく絶好の機会を逃さぬよう、市町事業に財源的な支援が必要						[問題・課題を表す客観的データ] R5年度開催大規模全国大会・イベント等(選手・観客1,000人以上)21件(見込含)						
[事業目的] 全国大会や世界大会の開催、代表チームのキャンプ誘致等の効果を、地域の特色としてまちづくりにつなげるため、新たに推進プランを策定し、プランに基づく事業を実施する市町をモデル地域として集中的・継続的に支援する。												
[事業内容] (1) 推進プラン策定 大規模大会等を実施後、その効果を継続するため、指導者の育成や競技人口の増加にかかる取組、交流人口の増加につながる事業、まちなかの景観整備など、課題解決や地域の特色づくりに資する事業を実施する「スポーツまちづくり推進プラン」を策定する。 ・推進計画には以下の3つの分野の実現に向けた事業を記載 ①交流人口増加…大規模大会の開催、独自大会の創設などによる交流人口の増加 ②裾野拡大…指導者・選手の育成、体験教室開催、地元住民との交流事業 など ③機運醸成…イベント開催、活動拠点の整備、関連グッズ開発など ・県が市町から募集し、一年度につき2市町のプランを認定 (2) 補助対象者 市町(補助対象者が競技団体等へ補助を行う事業も対象とする。) (3) 補助対象競技 全市町・全種目(新たなお家芸育成支援事業との重複事業は除く。) (4) 補助率 1/2 (5) 補助限度額 1つの計画あたり最長3か年度まで(計画認定年度を含む)合計15,000千円まで(ただし、一年度あたりの限度額は5,000千円まで)												
[受益者] 各市町						[想定される受益者数] 約5.7万人(あわら市、大野市)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町が主体となって、3か年の推進プランを作成し、県はプラン記載の事業について、重点的に支援する。					他県の状況						

スポーツまちづくり推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香					
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度					
事業実施方法	補助															
補助率	1/2															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額																
[予算額の推移等] (単位：千円)																
区 分			3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	令和 7 年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			12,938	15,940	15,826	1,930										
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移			9,086	12,988	14,709	1,930										
決 算 額 の 推 移			8,601	11,025	14,518											
前年度までの 主な増減理由	市町の事業計画に伴う減額															
[成果指標等の推移]																
区 分			3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績									各市町によって目標が異なるため設定が困難						
活動指標	新規プラン認定市町数	(目標) 実績	(2) 3	(2) 2						年に2市町ずつ新規プランを認定 (3年間で計6市町)						
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和 7 年度の変更点				事業評価							
(前年度の実績) R2：1件 コロナ禍の影響により越前市のみ R3：4件 越前市、坂井市、美浜町、高浜町 R4：6件 越前市、坂井市、美浜町、高浜町、あわら市、大野市 (定量的評価) ・独自のスポーツ大会が開催されるなど、市町の特色を活かしたスポーツイベントが開催された					—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,930				
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

スポーツイベント開催支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香																															
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度																														
事業実施方法	補助																																									
補助率	1/4~10/10																																									
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]					関連する県の計画等	[福井県スポーツ推進計画]																																			
[解決すべき問題・課題] スポーツを通じた地域活性化、交流人口の拡大						[問題・課題を表す客観的データ] スポーツイベントの観客数減少傾向 アスリートゲームズ 2024年観客数 200人※台風の影響もあり1日のみ・前倒しで開催 2023年観客数 1,500人 2022年観客数 1,200人 2021年観客数 1,600人 2020年観客数 2,700人																																				
[事業目的] 県内外の人が、スポーツを「する」「みる」機会を創出することにより、交流人口の増加を図る。																																										
[事業内容] 全国規模のスポーツ大会やスポーツイベントの開催を支援することにより、県民がトップレベルのスポーツに触れ、楽しみ合える機会を創出し、交流人口の拡大を図る。																																										
(事業内容)	競技団体等が実施するスポーツイベント開催経費を支援 (イベントの規模に応じて支援) イベント企画・調査、誘致活動経緯を支援					「スポーツ支援枠」の補助メニュー																																				
(補助率)	スポーツイベント支援枠：県1/2~1/4 (右図のとおり) ※「おもてなし」支援：10/10 ※「インバウンド推進」と認められるもの：1/2~1/4					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">イベント規模</th> <th rowspan="2">福井県スポーツまちづくり推進機構 加盟団体が主催するイベント</th> <th rowspan="2">「ふくいの魅力アップ」 ※おもてなしイベント</th> <th colspan="3">補助率</th> </tr> <tr> <th>1年目</th> <th>2年目</th> <th>3年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">県外参加者数 (選手+役員等)</td> <td>50~149人</td> <td>15万円</td> <td rowspan="6">5万円</td> <td rowspan="6">1/2</td> <td rowspan="6">1/3</td> <td rowspan="6">1/4</td> </tr> <tr> <td>150~299人</td> <td>30万円</td> </tr> <tr> <td>300~499人</td> <td>45万円</td> </tr> <tr> <td>500~699人</td> <td>75万円</td> </tr> <tr> <td>700~999人</td> <td>105万円</td> </tr> <tr> <td>1,000~1,499人</td> <td>150万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">+</td> <td>1,500~1,999人</td> <td>225万円</td> </tr> <tr> <td>2,000人~</td> <td>300万円</td> </tr> </tbody> </table>						イベント規模	福井県スポーツまちづくり推進機構 加盟団体が主催するイベント	「ふくいの魅力アップ」 ※おもてなしイベント	補助率			1年目	2年目	3年目	県外参加者数 (選手+役員等)	50~149人	15万円	5万円	1/2	1/3	1/4	150~299人	30万円	300~499人	45万円	500~699人	75万円	700~999人	105万円	1,000~1,499人	150万円	+	1,500~1,999人	225万円	2,000人~	300万円
イベント規模	福井県スポーツまちづくり推進機構 加盟団体が主催するイベント	「ふくいの魅力アップ」 ※おもてなしイベント	補助率																																							
			1年目	2年目	3年目																																					
県外参加者数 (選手+役員等)	50~149人	15万円	5万円	1/2	1/3	1/4																																				
	150~299人	30万円																																								
	300~499人	45万円																																								
	500~699人	75万円																																								
700~999人	105万円																																									
1,000~1,499人	150万円																																									
+	1,500~1,999人	225万円																																								
	2,000人~	300万円																																								
(補助上限額)	スポーツイベント支援枠：150千円~3,000千円(最大3年間) ※「おもてなし」支援：50千円 ふるさと納税活用支援枠：寄付金受入額 街なか利活用枠：500千円																																									
(実施主体)	福井県スポーツまちづくり推進機構加盟団体、競技団体など																																									
[受益者] 市町地域住民						[想定される受益者数] 約75万人																																				
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)																																				
市町との連携状況	福井県スポーツまちづくり推進機構における情報交流会内で、市町担当者が参加し、事業に関する情報提供や関係団体への周知を実施					他県の状況 佐賀県 補助率1/2 補助上限 国際大会 5,000千円 (3年間 計15,000千円) 国内大会 2,500千円 (3年間 計 7,500千円)																																				

スポーツイベント開催支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/4~10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	21,380			寄附金 繰入金 3,300	18,080	ふるさと納税 3,000千円 福井県まち・ひと・しごと創生基金 300千円						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	12,558	16,958	15,550	24,150	21,380	ふるさと納税等の活用型の予算額見直しによる減額 インバウンド推進事業による増額						
2月現計予算額の推移	7,813	10,968	13,560	18,596								
決算額の推移	7,019	9,740	12,706									
前年度までの 主な増減理由	イベント規模に応じた補助に伴う減											
[成果指標等の推移]												
区 分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	スポーツイベント来場者数 (目標)	(12,700)	(12,700)	(12,700)	(12,700)	(12,700)	(12,700)	(12,700)	採択イベント来場者数の合計			
	実績	4,000	6,200	11,363	11,800							
活動指標	補助事業採択件数 (目標)	(3)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	新規補助事業の採択件数			
	実績	2	4	6	8							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
【事業による要因】 ・競技団体と協力し、目標を超える8件のイベントを開催することができた。 【外的要因】 ・アスリートナイトゲームズで1,500人の来場者を想定していたが、天気(台風)の影響により、イベントの規模が縮小され、300人の参加となった。				・県内外だけでなく、国外からのスポーツによる誘客にも力を入れるため国際大会と認められるものについては、追加メニューや誘致活動への支援を創設 ・イベント会場でアンケート調査を実施し、抽選で回答者プレゼントを実施。 ・街なかを活用したスポーツがより手軽に体験できるような支援内容に変更。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

FUKUIRAYS育成・全国魅力発信事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香			
事業主体	ふくい県民応援チーム				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2	年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7	年度	
事業実施方法	委託、補助									経過年数	6				年
補助率	1/2～10/10									6	年				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3	楽しみを上げる(創造力)]	関連する県の計画等			[福井県スポーツ推進計画]							
[解決すべき問題・課題]					[問題・課題を表す客観的データ]										
スポーツ観戦・応援文化の醸成					チームの平均観客数は、コロナ対策規制緩和後も、コロナ禍前の水準に戻っていない 福井ユナイテッドFC：642人(2019年)→1,120人(2020年)→727人(2021年)→829人(2022年)→969人(2023年)→940人(2024年)※2月12日時点 福井丸岡RUCK：1,376人(2019年)→661人(2020年)→887人(2021年)→783人(2022年)→585人(2023年)→730人(2024年)※2月12日時点										
[事業目的]															
県民応援チーム「FUKUIRAYS」の活躍の場を広げ、県民に愛されるチーム作りを推進															
[事業内容]															
ふくい県民応援チーム「FUKUIRAYS」の活躍の場をより広げ、県民に愛されるチーム作りを推進 (1) 県民チームの魅力発信 ▶ チームの試合内容や結果、次の試合予定等についてテレビ・ラジオを通じて情報発信 ▶ 駅や公共施設等におけるポスター掲示 (2) 地域連携支援 ▶ FUKUIRAYSの選手等を派遣し、県民が直接チームと触れ合う機会を創出 (3) スポーツ応援機運醸成 ▶ 嶺北嶺南のスポーツ交流を拡大するため、嶺南での試合・イベント開催を補助 (4) 全国魅力発信 ▶ 県外の試合開催に伴う広報(チラシ等)やチームのSNSを活用した観光地PR (5) FUKUIRAYSふるさと納税育成支援 ▶ ふるさと納税を活用して県民が試合会場に集うチームに押し上げるための強化、育成・広報経費を支援 (6) FUKUIRAYSのホーム戦をさらに盛り上げるための経費を支援 ▶ 各チームのホーム等を盛り上げるための経費を支援 (7) FUKUIRAYS向け研修会の実施 ▶ チームを対象とした研修会や意見交換会の実施															
[受益者] 市町地域住民、スポーツチーム						[想定される受益者数] 約75万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	市町の公民館、イベント等へFUKUIRAYSを紹介					他県の状況	石川県：県内トップスポーツチームとの包括連携に関する協定 富山県：プロスポーツ支援事業								

FUKUIRAYS育成・全国魅力発信事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	ふくい県民応援チーム				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託、補助											
補助率	1/2～10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	123,376			寄附金 繰入金 113,000	10,376	企業版ふるさと納税 50,000千円 ふるさと納税(個人) 50,000千円 福井県まち・ひと・しごと創生基金 13,000千円						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	10,917	8,417	14,447	308,845	123,376	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税金額の見直しによる減額 ・FUKUIRAYSのホーム戦を盛り上げるための経費や研修会費用を増額 						
2月現計予算額の推移	10,917	8,055	77,940	69,975								
決算額の推移	10,286	7,631	53,245									
前年度までの 主な増減理由	R3～4 スポーツ応援機運醸成の見直しに伴う減 R5～6 ふるさと納税育成支援事業の創出による増											
[成果指標等の推移]												
区 分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	県民チームの入場者数 (ホーム)	(目標) (3,300) 実績 1,987	(3,500) 2,652	(4,000) 4,356	(4,500)	(5,000)	(7,500)	各チームの平均来場者数の合計(令和6年度に5チームから6チームに増)				
活動指標	イベント等への派遣数	(目標) 実績 145	(60) 260	(60)	(60)	(60)	(60)	年間12回の派遣/1チーム チームのイベントへの派遣や地域貢献活動を含む				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
昨秋、B3に参戦した「福井ブローウィングス」は、B3完全優勝、B2昇格を果たした。特に、プレーオフ第2戦目には、セーレンアリーナで過去最高となる3,965人の観客が集まるなど大きな盛り上がりを見せた。				「FUKUIRAYS交流推進事業」を新たに創し、FUKUIRAYS間の交流を促進することで、チームの認知度をさらに向上させ、新規ファンの獲得につなげていく。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

スポーツ情報ポータルサイト保守事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R7 年度		
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]				関連する県の計画等	[福井県スポーツ推進計画、北陸新幹線開業プラン]						
[解決すべき問題・課題] スポーツ情報ポータルサイト「F. sports!」の安定的な運用						[問題・課題を表す客観的データ] スポーツイベント・大会情報を中心に、県、市町、団体が各々情報発信しており、県民にとって情報にアクセスしにくい状況となっていた。情報を一つに集約・発信することで県民のアクセス向上を図る。						
[事業目的] 県内のスポーツ情報をまとめたポータルサイト「F. sports!」の安定的な運用を図る												
[事業内容] 以下のポータルサイトの保守委託（サーバ利用料、オンサイト保守）												
		【コンテンツ】 ①お知らせ情報 …県からのお知らせ情報 ②ふくい県民応援チーム …県民チームの紹介ページ ③はぴりゅうスポマガ …スポーツコラム ④スポーツイベント …県内のイベント情報の検索、閲覧 ⑤スポーツ施設 …県内の大会開催地、合宿地を検索、閲覧 ⑥ボランティア募集 …県内のボランティア募集情報の検索、閲覧、メール会員登録 ⑦イベント支援情報 …イベント開催補助金等の情報 ⑧福井県スポーツまちづくり推進機構 …推進機構の紹介 ⑨競技力向上 …県内企業に就職しているトップアスリートの紹介										
[受益者] 県民、県外観光客						[想定される受益者数] 500～800view/日						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況	市町のスポーツ施設情報、スポーツ大会・合宿支援情報などを提供してもらい、ポータルサイトに掲載					他県の状況					愛知県、埼玉県、滋賀県などがスポーツ情報ポータルサイトを設置	

スポーツ情報ポータルサイト保守事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,963				1,963								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			1,281	1,281	1,281	1,281	1,963	・保守管理費の見直しによる増額（メール配信サービスなどの価格改定） ・OSアップデート対応に伴う増額					
2月現計予算額の推移			1,281	1,281	1,281	1,281							
決算額の推移			1,281	1,281	1,281								
前年度までの 主な増減理由		—											
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	全国大会・スポーツイベント（1000人以上）の参加・観戦者数	(目標) 実績	(16,300) 13,700	(16,500) 17,700	(16,500) 75,400	(16,500)	(16,500)	(16,500)	(64,200)	新幹線開業までの開催見込み（最終目標）			
活動指標	ポータルサイト延べ閲覧数	(目標) 実績	(36,000) 180,862	(91,250) 145,905	(91,250) 454,536	(91,250)	(91,250)	(127,750)	委託業者（三谷コンピュータ）からの業務報告 R6年度：R6年度4～R7年度1月までの10ヶ月分				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価			
・全国大会・スポーツイベントの参加・観戦者数の目標を達成（観戦者数 75,400人） ・ポータルサイト閲覧数の目標を達成（R7.1月時点閲覧回数187,303回）					・再度長継続契約を締結					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
										<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

スポーツコミッション事務局運営事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営			経過年数								
補助率	—			6 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] 市町、経済団体、観光団体、スポーツ団体、報道機関などの情報共有の場が少ない 県内外の推進機構の認知度を向上						[問題・課題を表す客観的データ] 情報共有が十分図れていない。 (R5年度は10月・3月に合計2回実施。参加者対面・オンライン 合計120名)						
[事業目的] 情報共有の場を持ち、一体的にスポーツを通じた地域活性化を進める 県内外の推進機構(スポーツコミッション)の認知度を向上させ、大会・イベント開催等で頼られる機構を目指す												
[事業内容] (1) 情報交流会の開催・人材育成セミナーの開催 情報交流会の開催 : ①回数 年2回(10月および3月に実施) ②内容: 事業結果・事業計画の報告、優良事例の発表、会員相互の交流 等 人材育成セミナーの開催: ①回数 年12回(情報交流会の実施に合わせて開催) ②講師(例): 全国的な先進事例で中心となって活躍している団体(金沢文化スポーツコミッション 等) (2) スポーツコミッションコーディネーター(地域おこし協力隊)によるスポーツコミッションの拡大事業 ・誘致活動や県内競技団体等との調整を専門的に行うスポーツコミッションコーディネーター(地域おこし協力隊)を配置 ・スポーツイベントをさらに盛り上げるための伴走支援(企画・立案)を実施 (3) スポーツイベント誘致・開催支援促進事業 ・誘致にかかる県内体育施設等のパンフレット等を作成し、誘致活動を促進 (4) スポーツ展示会出展 ・県外スポーツ団体等へコミッションを印象づけるとともに、加盟団体が県外団体とふれあう機会を創出 (5) JSTA(日本スポーツツーリズム機構)との連携 ・JSTA会員になることで、情報交流・発信の場の創出や、スポーツコミッションのヨコのつながりを強化												
[受益者] 福井県スポーツまちづくり推進機構加盟団体						[想定される受益者数] 92団体(R6.10月末現在)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	市町とスポーツコミッションを構成					他県の状況		県主体のスポーツコミッションは全国に14団体(R5.10月末現在)				

スポーツコミッション事務局運営事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,292	721			9,571	新しい地方経済・生活環境創生交付金 721千円 特別交付税 5,500千円						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移			365	273	273	7,079	10,292	スポーツコミッションの機能強化に関する増額				
2月現計予算額の推移			365	273	273	4,056						
決算額の推移			123	155	259							
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	全国大会・スポーツイベント(1000人以上)の参加・観戦者数	(目標)	(16,500)	(16,500)	(16,500)	(16,500)	(30,000)	(30,000)	(64,200)	新幹線開業までの開催見込み(最終目標)		
		実績	13,700	17,700	75,400	59,000						
活動指標	情報交流会開催	(目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)			情報交流会の年2回開催		
		実績	1	2	2	2						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・事業による要因 新幹線開業効果もあり、多くの全国大会・イベント等が開催された				・先進的な事例の照会や、集客力向上を目的としたSNS研修等の研修費用を増額。 ・コミッション事務局と一緒に事業を企画したり、県外へ広報する費用の追加。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

ワールドマスターズゲームズ2027関西開催準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香
事業主体	県実行委員会、関西組織委員会				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開 始 年 度	H30 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] コロナ禍の影響により組織委員会は大会をR9年5月に再延期した。本県としても再延期後の大会開催に向け実行委員会を継続して運営していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 再延期後の会期 (R9年5月開催) 決定に影響した国際競技大会 アジアパシフィックマスターズ (R5年5月 韓国)、ヨーロッパマスターズ (R5年6~7月 フィンランド)、WMG台湾大会 (R7年5月 台湾)						
[事業目的] オリパラ開催を機に高まるスポーツ機運の継承、さらに北陸新幹線開業後のインバウンド拡大や関西との連携強化を図るため、再延期となりR9年5月に開催される「ワールドマスターズゲームズ関西」の公式競技(ライフセービング)を高浜町で開催する。												
[事業内容] (1) 公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会への参画 ・職員を派遣し、国際大会の誘致・運営ノウハウ等を本県に蓄積することにより、今後の国際スポーツ大会等の誘致・開催につなげる (2) 「ワールドマスターズゲームズ2021関西 福井県実行委員会」の運営 ・開催市町や競技団体等が参加する県実行委員会を運営し、競技開催に向けた県内の体制を整える (3) 2027年の大会開催に向けての準備 ・大会開催に向け、県内機運醸成、参加者獲得のためのPR活動、開催市町の準備行為支援を実施 (4) 大会開催に向けての準備(関西マスターズスポーツフェスティバルへの負担金) ・大会開催に向けて県内機運醸成、生涯スポーツの裾野を広げるため、大会の認知度向上、PRを継続的に実施												
[受益者] 大会参加者(ライフセービング、カヌーポロ)、開催市町、飲食・宿泊施設						[想定される受益者数] 800人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	県と高浜町とで組織委員会への負担金を共同で負担 (割合 県:高浜町=1:1)					他県の状況		関西を中心として13府県政令市で実行委員会を設立し、開催に向け準備を進めている(福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市)				

ワールドマスターズゲームズ2027関西開催準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香					
事業主体	県実行委員会、関西組織委員会				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	H30 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度		
事業実施方法	負担金					□ 法定受託事務			□ 補助金						■ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	2,555				2,555											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			9,623	86	55	50	2,555	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織委員会への負担金の増額(R7～自治体職員のパイプが再開) ・ 県実行委員会事業費の増(国内大会、国外大会でのPRおよび、PR用の広報物の作成など) 								
2月現計予算額の推移			5,611	86	55	50										
決算額の推移			5,501	13	10											
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ R3年度は大会開催準備事業についてR2年度事業で執行された部分が大きかったため、全体の事業費が減少 ・ R4、5、6年度は組織委員会への負担金が発生せず、県実行委員会としても事業規模を縮小したため減少 														
[成果指標等の推移]																
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	ライフセービング競技大会 参加者数	(目標)	(500)	—	—	—	—	—	(500)	高浜町開催ライフセービング競技大会参加者数500人：国内300人、国外200人(目標)※前回オークランド大会425名。再延期に伴いエントリーを一旦リセットする予定。令和9年度に再度設定						
		実績	68	—	—	—										
活動指標	大会広報活動	(目標)	(24)	—	(5)	(5)	(5)		(25)	大会の開催を幅広く周知し、参加者獲得、県内の機運を高める 令和3年度：4回(国内競技会2回、全豪選手権2日間)						
		実績	4	—	5	6										
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価								
6件のスポーツ大会で、WMGの開催を幅広く周知し、県内の機運醸成を高めることができた。				<ul style="list-style-type: none"> ・ 公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021 関西組織委員会への職員の派遣を再開 ・ 大会周知活動用の広報物の作成 ・ 国内・国外での大会周知活動を再開 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

eスポーツをフックとした交流促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香				
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R8 年度					
事業実施方法	委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]					関連する県の計画等	[福井県スポーツ推進計画]								
[解決すべき問題・課題] スポーツを通じた地域活性化、交流人口の拡大						[問題・課題を表す客観的データ] スポーツイベントの観客数減少 アスリートゲームズ 2024年観客数 200人(※台風の影響もあり1日のみ開催)、 2023年観客数 1,500人、2022年観客数 1,200人、 2021年観客数 1,600人 2020年観客数 2,700人									
[事業目的] 県内のeスポーツ普及、またeスポーツを活用した交流の活性化や交流人口の拡大															
[事業内容] 1. eスポーツイベント開催 ①ステージプログラム…eスポーツアンバサダーの設置、トーナメント開催、プロ選手によるパフォーマンス ②体験ブース…eスポーツ体験ブースの設置(ぷよぷよ、グランツーリスモ、太鼓の達人、フォートナイト等) フィジカルeスポーツ体験ブースの設置(自転車・ボート・クレール射撃等) ふくい県民応援チーム選手とのeスポーツ・リアルスポーツ体験ブース設置															
[受益者] イベント参加者						[想定される受益者数] 約10,000人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 障がい者eスポーツ普及促進事業 (役割分担) 当該事業はeスポーツを通じた交流人口の拡大を主な目的としており、しあわせ福井スポーツ協会の障がい者eスポーツ普及促進事業は、障がい者がeスポーツを通じて活躍する場の提供や健常者との交流を深める機会を創出し、共生社会の実現を目指すもの。								
市町との連携状況						他県の状況	○東京都「東京eスポーツフェスタ」 ・目的：eスポーツの普及と関連産業振興 ・予算額：約50,000千円 ・参加者数：約8,000人(2日間延べ) ○福岡市「福岡eスポーツフェスタ」 ・目的：eスポーツ産業振興と裾野拡大、新たな産業創出 ・予算額：約47,000千円 ・参加者数：約13,000人(オンライン参加含む)								

eスポーツをフックとした交流促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度	
事業実施方法	委託							□ 補助金					□ その他
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	5,940	2,970			2,970	新しい地方経済・生活環境創生交付金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						5,940	5,940						
2月現計予算額の推移						5,940							
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	来場者数	(目標) 実績				(1,000) 3,000	(1,000)	(1,750)	(2,500)	イベント来場者数			
活動指標	実施数	(目標) 実績				(3) 4	(3)	(5)	(10)	県内eスポーツイベント実施数			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価						実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価				
・令和6年度は4回、商業施設やスポカルFUKUIにおいて、eスポーツイベントを開催し、延べ約3,000名参加し、想定より多くの方に参加いただいた。						継続して実施			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

わたしのまちのスポーツ交流推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	競技団体等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託			■ 補助金								
補助率	—			□ その他								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]				関連する県の計画等			[福井県スポーツ推進計画]				
[解決すべき問題・課題] スポーツを通じた地域活性化、交流人口の拡大、スポーツツーリズムの振興						[問題・課題を表す客観的データ] スポーツイベントの観客数減少 アスリートゲームズ 2024年観客数 200人(※台風の影響もあり1日のみ開催)、 2023年観客数 1,500人、2022年観客数 1,200人、 2021年観客数 1,600人 2020年観客数 2,700人						
[事業目的] 日本代表合宿をきっかけとした県内市町におけるスポーツツーリズムの振興												
[事業内容] 1 事業概要 福井県スポーツまちづくり推進機構が市町や競技団体等と連携して合宿を誘致 2 事業内容 ①女子レスリング日本代表合宿 ・事業費 6,691千円 ・期 日 2月～3月頃 ・会 場 敦賀市総合運動公園 ・選手団規模 計40名程度(予定) 【女子】金城梨紗子、須崎優衣、藤波朱理、桜井つぐみ、元木咲良、尾崎野乃香、鏡優翔など												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・敦賀市 連携内容：福井県レスリング協会との日程調整、会場確保、 会場利用料減免、会場備品貸し出し、合宿の広報					他県の状況	・大分県(大分県スポーツ合宿誘致推進協議会) 対 象：ナショナルチームやプロチーム、実業団が実施する合宿 助成金：500万円(ナショナルチーム) 300万円(プロ1部リーグ所属) 150万円(プロ2部リーグ所属) 50万円(プロ3部リーグ所属) 備 考：助成額のうち、大分県1/2、大分市1/2 毎年開催する場合も補助額の減額なし。					

わたしのまちのスポーツ交流推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	競技団体等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	6,691	6,691				地方スポーツ振興費補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						7,800	6,691	事業計画変更に伴う減額 (R7 女子レスリング日本代表合宿を誘致)				
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由	令和6年度は、バドミントン日本代表合宿を誘致を予定していたが中止。											
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	参加者数	(目標) 実績					(500)		(1,500)	合宿開催に伴い合宿会場に訪れた選手および観客等の人数		
活動指標	実施件数	(目標) 実績					(1)		(3)	合宿実施件数		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価			
外的要因 ・日本バドミントン協会の財政事情などもあり、開催を中止					女子レスリング日本代表合宿を誘致				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,109
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

スポーツボランティア育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画、北陸新幹線開業プラン]							
[解決すべき問題・課題] 競技団体、県内プロチーム、市町スポーツイベント、大規模スポーツイベントへの人材面（ボランティア）のサポート						[問題・課題を表す客観的データ] R3年度開催大規模全国大会・イベント等（選手・観客1,000人以上）7件 R4年度開催大規模全国大会・イベント等（選手・観客1,000人以上）10件 R5年度開催大規模全国大会・イベント等（選手・観客1,000人以上）21件 R6年度開催大規模全国大会・イベント等（選手・観客1,000人以上）14件（見込含）								
[事業目的] スポーツに特化したボランティア制度を構築することで、大規模大会・イベント開催のより円滑な運営を図ることができる。スポーツボランティアの活動支援を通じて、スポーツを「ささえる」という関わり方の参画を推進し、スポーツボランティア文化のさらなる発展を目指す。														
[事業内容] (1) スポーツボランティア研修会の開催 ○スポーツボランティアを対象にした研修会の開催 ※年4回を想定（リーダー向け2回、初心者向け2回） (2) スポーツボランティアバンクの周知 ○スポーツボランティアの会員登録や研修会に関するちらしを作成 (3) ボランティア専用ホームページの運用（スポーツ情報ポータルサイト）において、ボランティアの個人会員登録および団体登録を実施 ○システム内で登録者に対し、ボランティアの募集および参加申し込みが可能														
[受益者] 市町、競技団体、ふくい県民応援チーム						[想定される受益者数] 約800人								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	・市町のスポーツイベントへの人材派遣					他県の状況	福島県：NPO法人 うつくしまスポーツルーターズ 日本スポーツマスターズ2004福島大会を契機に2005年うつくしま広域スポーツセンター内に設立された。その後2007年にNPO法人として、福島県内の様々なスポーツイベントへボランティア派遣を行っている。							

スポーツボランティア育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R6 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営			□ 補助金				経過年数				
補助率	—			□ その他				2 年				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,009	504			505	新しい地方経済・生活環境創生交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				5,215	1,009	・ボランティアバンクシステムの立ち上げ完了に伴う事業費の減額						
2月現計予算額の推移				5,215								
決算額の推移												
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	イベント等への派遣数 (目標)			(210)	(160)		(800)	スポーツ推進計画				
	実績			210								
活動指標	ボランティア登録者数 (目標)			(250)	(160)		(800)	スポーツ推進計画				
	実績			270								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・令和6年度、新たに「スポーツボランティアバンク」の運用を開始し、約270人が個人会員登録を行った。また、7団体がスポーツボランティアバンクを活用し、ボランティアの募集を行った。				スポーツボランティア会員・募集团体会員の登録呼びかけを行うとともに、スポーツボランティアへの参加者向けに講習会を開催				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	4,206	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

競技力向上対策事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香
事業主体	県、県スポ協、中体連、高体連 等				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S41 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	実行予算、補助金									経過年数		
補助率	県10/10									60 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化芸術・スポーツ力の強化]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画、教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 本県からトップアスリートを継続的に輩出するため、福井国体の選手強化の過程で得た有形・無形の「経験、人材、ノウハウ」のレガシーを継承・発展させ、中長期的な視点で選手確保・育成・強化サイクルを形成し、特にジュニア選手の発掘・育成を重点的に進める必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] H30福井国体前 全国大会での上位入賞数：100件未満 国スポ順位：20位台以下						
[事業目的] 計画的な選手の確保、育成等の競技力向上対策を実施し、国民スポーツ大会をはじめスポーツの全国大会において本県選手が活躍することを通して、県民に夢と感動を与え、本県のスポーツの普及・振興を図る。												
[事業内容] ○選手確保 ・競技体験会の開催やトップアスリートを目指す子どもを対象に育成プログラムを提供 ・県内の強豪高校で競技力向上に励む選手へ下宿費用を支援 ・「スポジョブふくい」を活用し、アスリートの県内就職を支援 等 ○育成・強化 ・中学生の時から県選抜チームを結成し、定期的な練習会や強化遠征・合宿を実施 ・県外遠征やスーパーアドバイザーの配置により「チームふくい」を継続的に強化 ・強豪の県立高校の重点強化により、地域と学校をつなぐ継続的な選手の育成・強化体制を構築 等 ○環境整備 ・強化合宿や練習会、大会等にチーム専属トレーナーやメンタルトレーニングコーチ等のスポーツ医・科学の専門家を派遣 等												
[受益者] 国スポの正式競技(41競技)の選手・指導者						[想定される受益者数] 約80,000人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	歴代の国体開催県は、開催後も継続して競技力向上事業を実施					

競技力向上対策事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県、県スポ協、中体連、高体連 等				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S41 年度 経過年数 60 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	実行予算、補助金											
補助率	県10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	416,883				416,883							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移			674,163	532,276	479,817	455,066	416,883	・スーパーアドバイザー配置事業の指導者回数の減				
2月現計予算額の推移			570,518	506,544	478,817	455,066						
決算額の推移			518,179	492,643	477,485							
前年度までの 主な増減理由	「新たなお家芸競技」育成支援事業などの事業見直しに伴う減											
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	全国大会での上位入賞件数 (1~3位)	(目標)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	スポーツ推進計画、教育振興基本計画の目標		
		実績	188	180	249	158						
活動指標	新規選手確保数(少年・成 年)	(目標)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	高校生トップアスリート奨励金での有望選手獲得数 「スポジョブふくい」での有力選手獲得数		
		実績	50	50	46	51						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・国スポ10位台を目標に競技力の向上に取り組み、成果目標を達成				・全国大会での上位入賞数は高いレベルで維持できているが、より効果的・効率的な強化対策が実施できるよう活躍が見込まれる競技・種別を重点的に強化				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		